

演奏者プロフィール



大山 平一郎
(音楽顧問 / ND 小卒)

米国のサンタバーバラ室内管弦楽団音楽監督兼指揮者。CHANEL Pygmalion 室内楽シリーズ・アーティストディレクター。1987年ロスアンジェルス・フィルハーモニック副指揮者に任命。1999年から5年間、九州交響楽団の常任指揮者。2005年、「福岡市文化賞」を受賞、2008年、「文化庁の芸術祭優秀賞」を受賞。



柴 愛
(指揮 / ND 高卒)

ザ・カレッジオペラハウス、関西二期会、関西歌劇団などで、飯守泰次郎、大勝秀也、牧村邦彦氏らのアシスタントを務める。これまでに、モーツァルト「コジ・ファン・トゥッテ」、ドニゼッティ「ドン・パスクアレ」などを指揮し、今年度は、ドニゼッティ「愛の妙薬」を予定するなど、指揮者としての活動の場を広げている。



岡村明日香
(ピアノ / ND 小中卒)

京都市立堀川高等学校音楽科を経て、同志社女子大学音楽学科ピアノ専攻卒業。ソロリサイタル、室内楽、伴奏等、数々のコンサートに出演。現在、大谷大学短期大学部専任講師、ノートルダム女学院課外レッスン講師。京都音楽家クラブ、日本ピアノ教育連盟会員。



中野 真理
(フルート / ND 小中卒)

東京音楽大学卒業。ボストン大学芸術学部に留学。第45回毎日音楽コンクール入選。ボストン・ポップス・ソリスト・コンクール優勝。第1回神戸国際フルート・コンクール入賞。ソロアルバム3枚をリリース、演奏CD付きの『フルートのしらべ』2冊を出版。日本音楽コンクールなどの審査員を務める。現在、東京音楽大学講師。



木下 真希
(ヴァイオリン / ND 小中卒)

京都市立堀川高校音楽科を弦楽科首席卒業。ギルドホール音楽院にて学士・修士課程を修了。長岡京室内アンサンブルメンバーとして国内外の音楽祭や公演・録音に参加。佐渡裕氏が音楽監督を務める兵庫芸術文化センター管弦楽団創設メンバーに選出され参加。現在、同楽団レジデントプレイヤーとしてコンサートに常時出演。



水野 久美 <中野真理氏伴奏>
(ピアノ / ND 中卒)

京都市立芸術大学大学院を修了。ルツェルン音楽院にて M. フレーガー、M. ホルショフスキー各氏のマスタークラスを修了する。京都音楽協会賞、NHK 洋楽オーディションに合格。日本モーツァルト音楽コンクールピアノソロ部門、ピアノ伴奏部門に入選し、あわせて洗足学園前田賞受賞。近年は世界の名手との共演も多く、CD録音も行う。



俣野 美穂 <木下真希氏伴奏>
(ピアノ / ND 高卒)

同志社女子大学学芸学部音楽学科卒業後、桐朋学園大学音楽学部カレッジディプロマコースを卒業。在学中より、桐朋学園大学音楽学部有志によるピアノコンサート「ノイエ・ヴェレ」東京・大阪公演に出演。2007年、2010年に京都にてジョイントリサイタルを開催。現在ソロ及び伴奏者として活動する他、後進の指導にあたる。

開催趣旨

このたび「第3回ノートルダムファミリーコンサート」を開催する運びとなりました。

このコンサートは、同窓会有志の発案により、2005年9月3日京都コンサートホールにて第1回を開催しました。演奏者はすべて、大学・中学高等学校・小学校の在校生・教職員・同窓生・そのご家族の方々に構成され、まさにファミリーの絆が音楽に表現され、素晴らしいハーモニーとなり成功裡に終えることができました。これまでの基本精神を受け継ぎつつ、本コンサートも、ノートルダムファミリーの輪を音楽によって世界に広げて行きたいと考えております。

学校法人の設立母体であるノートルダム教育修道女会は、「人が変われば世界が変わる」をモットーとしております。今回の収益金は、東日本大震災への義援金と発展途上にあるネパールの教育のために贈りたいと思います。



Notre Dame

Virtus et Scientia

ノートルダムファミリーコンサート

～音楽がむすぶ絆のひろがり～